

# 地域に愛され、地域とともにある学校づくりの推進

下関商業高等学校

## 学校運営協議会について

- ① 委員の構成  
15名（同窓会・PTA・地域の小・中学校・下関市立大学・地元企業・市役所等）
- ② 実施回数  
年間2回（全体運営協議会）
- ③ 主な協議内容  
本年度の組織運営、本年度の学校教育目標と教育構想、下商コミスクの説明と協議（チャレンジショップ・商品開発・地域貢献（観光）・プログラミング教育）等

## 特色ある活動

### ◆ 3年生「課題研究」観光班の活動

地元企業やCSコーディネーターの協力のもと、下関市の観光の調査研究としてPMB（ポートレート・ムービー・ブックレット）を活用したモニタリング調査や、下関市歴史博物館での学芸員による講義を踏まえてスマホアプリ付「古地図」（AR版）を活用した長府地区での調査研究、手作りの観光マップの作成等を行いました。



写真1  
サンプリング調査の様様

### ◆ マナー講座に関する中学校出前授業

2年生対象として主に職場体験（インターンシップ）のための事前指導、3年生対象としてビジネスマナー指導及び高校入試に向けての面接練習に関する内容で実施しています。商業科教員2名の他に依頼中学校出身の本校生徒4名～6名程度が参加し、挨拶の仕方や面接の実演を行っています。中学生にとってはビジネスマナーや面接に対する意識の高揚が期待されるとともに、大人びた先輩の姿に感動し、憧れを抱く生徒も多いと聞いています。



写真2  
垢田中学校でのマナー講座

## 来年度に向けて

- ① 「学校運営」機能の強化  
学校運営協議会における従来の学校評議員会の機能の部分を強化していきます。そのために、校内メンバー構成及び会議の内容を再検討し、学校評価や委員の方からの御意見を学校運営に反映させる体制を整えていきたいと考えています。
- ② 地元への理解の深化と「地域貢献」の具体化  
産業立地・就業支援課や観光政策課等の協力のもと、各種映像資料やパンフレットを活用して「下関にこういう街になってほしい」という思いを育てるとともに、生徒による下関の観光についての具体的な提言を行っていきます。